

ちかみらい通信

～液状化に強いまちを目指して～

ごあいさつ 熊本市では、これまで近見地区において「宅地液状化防止事業」の検討を進めてまいりました。

検討の結果、近見地区において「地下水位低下工法」が有効であることが分かり、工事の効果を確認するために実証実験を実施することとなりました。これを機に、事業について広く市民の皆様にご覧いただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めてまいりたく思っております。一刻も早い近見地区の復興をめざしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします！！

液状化対策の実証実験を始めます

○実験手順

1. 実験箇所周りの水が入らないように、鋼製の「矢板」(壁)を地面に打ち込みます。
2. 実験箇所に、鉄板で重さを再現した「模擬家屋」を設置します。模擬家屋は一般的な家屋と同等の約60トンの重さがあります。
3. 矢板内の地下水を、地中に設置した「集水管」で集め、その水をポンプで排水して観測を開始します。

○観測内容

地下水位を低下させ、水位の状況や矢板の遮水効果を確認します。また、模擬家屋や周辺地盤への影響や沈下量を確認します。

☆実証実験の現場見学会の開催案内

日付:平成30年**5月12日(土)**、**16日(水)**

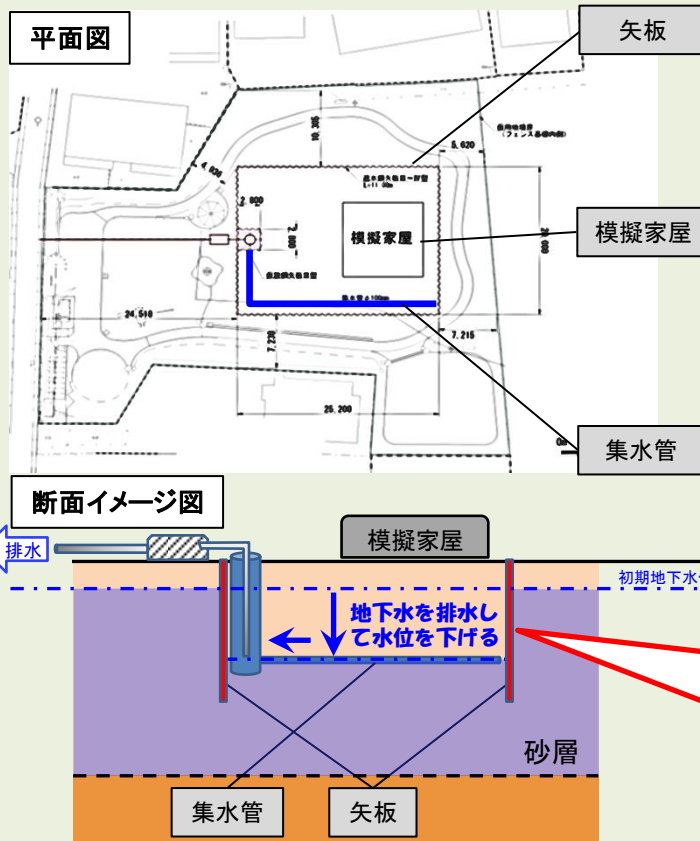
時間:午前の部(10:00～)、午後の部(14:00～)の2部開催
(※雨天の場合は翌日に延期)

内容:実験内容や工法についての説明を行います。
ご興味のある方は、この機会に是非お越しください！！

【問合せ先】

◇熊本市都市建設局 震災宅地対策課 096-328-2966
宅地液状化防止事業について 計画調整班
宅地復旧支援事業について 宅地復旧支援班

実験場所:近見1丁目ふれあい公園
実験期間:平成30年4月18日～平成30年8月
(経過状況により期間が変更となる場合があります)



地下水がない砂層は液状化しないため、地下水位を下げることによって液状化しない層を作り、被害を抑える。

実証実験 現場見学会 位置図

※ 駐車場所がありませんので、徒歩または公共交通機関でお越しください。

